



横浜みどりアップ計画

地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

※助成金を活用していない活動も含まれます

若葉台もみじ自治会周辺地区 旭区若葉台4丁目の一部

若葉台もみじ花と緑推進會



◎取組期間 3か年 ◎協定締結期間 令和2～4年度 ◎助成金額合計 12,570千円

団体・地区の概要

「若葉台もみじ花と緑推進會」は、若葉台もみじ自治会の定期会員總會にて、特別委員会に位置づけられ、発足しました。自由参加型のサポーター制度の導入や、星槎学園さんの年間の教育計画に緑化活動を組み込んでいただくなどで、地域の方々の協力を得ています。

若葉台は、旭区北部に位置し、緑区に接しており、JR 横浜線十日市場駅からバスで約15分です。計画対象地区は、若葉台の西部に位置しています。一方、高等学校が隣接し、遠方から多くの生徒が通っています。また、旧若葉台西中跡地の施設では大勢の方

が利用されており、夏には公共プールがオープンし、多くの子どもたちなどが来ます。近隣には高齢者施設もあり、居住者である大勢の方が地域を散策されています。

取組(計画)の概要

若葉台は開発当初の自然環境をそのまま生かす方針で維持されてきました。緑豊かではあるが、桜の季節を除くと季節の変化が乏しく緑一色のまちの植栽に、彩を加えることにより、四季折々の変化を感じられる景観にすることで若葉台の西側玄関としてのイメージアップを図りました。計画の推進にあたっては、土地利用者の同

意をいただくため、関係団体管理組合の総会承認、横浜市水道局、横浜市旭土木事務所、神奈川住宅供給公社の承認を得て進めました。彩のプロムナードの整備では、広域のため造園設計事務所に設計を依頼し、整備工事では監理業務を委託しました。三角公園では、造園業者に土壌改善していただき、植栽や小道、木陰の切り株椅子等は推進会で整備しました。結果として、自主整備を含めて花壇整備総面積1200㎡以上に及び取組となりました。

また、植栽活動には、近隣住民の方や、星槎学園の学生さんなどに参加していただくことで活動メンバーを増やし、継続可能な緑化活動を目指しました。



横浜みどりアップ計画とは

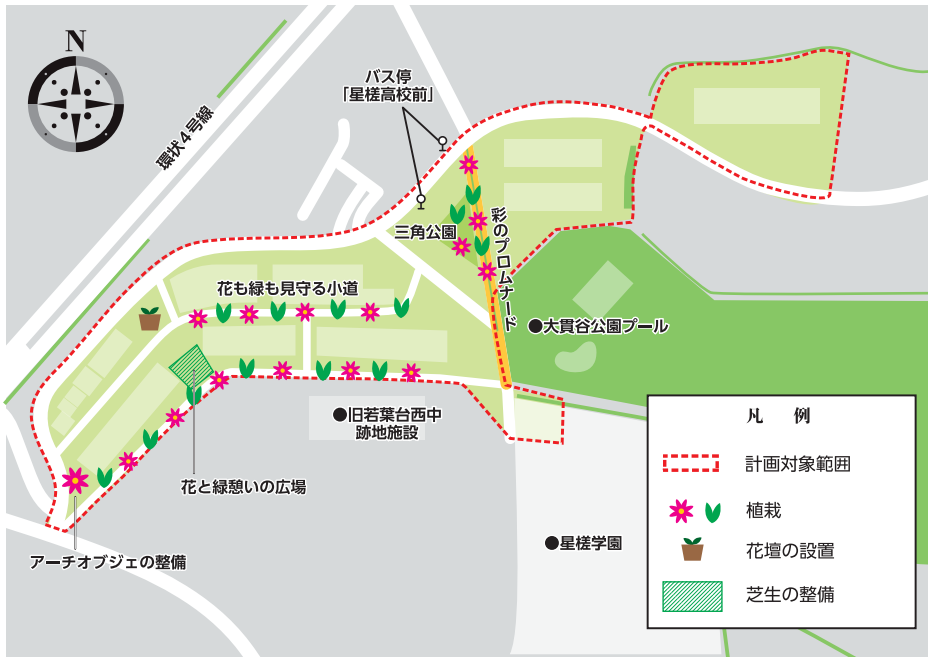
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は... [横浜みどりアップ計画](#)

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は... [地域緑のまちづくり事業](#)



地区の範囲図及び緑化実施場所



花も緑も見守る小道



アーチオブジェに苗の植え付け



三角公園



花と緑憩いの広場の円形花壇

■ 民有地緑化・景観木保全

20本のヤマモモを伐採し、星槎学園さんと作りあげた彩りのpromナード

計画前の「彩のpromナード」は、20本ほどのヤマモモがあり、夏になると葉が生い茂りとても暗く景観がよくないという課題がありました。そこで、土地を管理している水道局に相談し、伐採してもらうことになりました。その後本事業で700平米程度の面積の土や堆肥を入れ替えて、新たに植栽をすると、見違えるほど綺麗になりました。

季節の花などの植え付け規模を拡大して魅力的なまちづくりを実現

三角公園は植栽することによって雑草を抑え景観がすごく変わりました。花と緑憩いの広場では芝生を整備し、元々噴水池だったところを、遊ぶ子供が減ったことにより、円形花壇に再整備しました。モノトーンのコンクリート製アーチは大規模修繕による浄化・塗装後、周辺にアーチオブジェを設置し、蔓バラの植栽などを行い、若葉台西側の玄関として生まれ変わりました。

■ 地域緑化活動

人々との交流を通じた緑化活動と、ウェブサイトを通じた情報発信

気軽に参加していただけるよう、月に3回ガーデニングデーを設定し、それ以外でも有志を募り活動しています。星槎学園さんとはマリーゴールドとパンジーを年に2回植栽し清掃活動も行い、活動を通じて新たな人材の発掘、育成につなげつつ、地域交流の場を増やしています。

また、「若葉台もみじ花と緑推進会」のウェブサイトでは、行った活動の様子などの写真の他に、花と緑に関する様々な情報を配信しています。多くの写真や充実した内容により、現在、サイトは2つ目となっています。

3か年の取組みを振り返って

所有者が複数に渡る公有地で緑化整備を計画したため、関係各所の調整がとても大変でした。しかし、見違えるように変わった街の景観に、地域の皆様から「とても明るい印象になった」という喜びのお声をいただき、カメラを持って散歩する方も見かけるようになりました。また、一緒に活動を行っていた星槎学園の先生や学生さんといった、地域の人との交流の機会を持てたことも良い結果になったと思います。今後も活動を広げ、子供たちや地域の方々を巻き込んで、次の世代に繋げていきたいと考えています。